

町のくらしを伝え続けて58年

広報ごうど700号記念特集



新型コロナウイルスのまん延によりこの頃の広報では、町民の皆さまへ、感染症の予防方法や感染症対策支援について多く掲載しました。



広報ごうどの制作からご自宅へ届くまでの一連の流れをご紹介しました。



- 大野神戸IC～大垣西IC開通 (2020年1月号)
- 大野神戸IC～本巣IC開通 (2025年10月号)

東海環状自動車道 大野神戸IC～大垣西IC、大野神戸IC～本巣IC、それぞれの開通記念イベントを取り上げました。



「広報紙で振り返る平成の歩み」と題し、平成期に行われた町の大きな事業を広報記事を通して振り返りました。

※過去の広報紙は図書館で閲覧できます。



③ 広報ごうど誕生

昭和42年10月1日。公
民館の情報と分離して、
行政情報を伝える「広報
ごうど」が誕生しました。
毎月1回の発行を重ね、
この令和8年1月1日に
700号を数えました。



② 戦後、広報紙活動の再開

終戦から5年経った昭
和25年。混迷が収まり、
明るい復興に向けて社会
情勢への関心が増幅しま
した。そこで、自主的社
会教育の機関として「神
戸町公民館」が創設さ
れ、その第一事業として
「神戸町公民館報」が同
年7月15日に発行され
ました。



① 広報紙活動の始まり

町の出来事等を伝える
広報紙の始まりは、大正
13年1月26日に発行され
た「神戸町報」までさか
のぼります。当時の皇太

広報ごうどの歴史

町広報紙「広報ごうど」は本号で記念すべき700号の節目を迎えることができました。

昭和42年10月に「神戸町公民館報」から分離して誕生した「広報ごうど」は創刊されてから58年、

町からのお知らせやできごと、暮らしに必要な情報をお伝えしてきました。

本ページでは過去100号（600号から700号）の間に起きた町の大きな転機を振り返ります。



(2025年8月号)

2025年7月19日、ごうど児童館がオープンしました。竣工式には関係者約50人が参加し、テープカットや銘板の除幕式など、盛大に行われました。



ゼロカーボンシティを宣言
(2024年3月号)

2024年2月15日に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティごうど」を宣言しました。EV急速充電器の設置や次世代自動車購入費用の一部を助成するなどの事業を現在行っています。



第6次総合計画がスタート

(2025年4月号)

10年間（令和7年度から10年度まで）の行政運営の基本方針を定めた「神戸町第6次総合計画」を制定しました。



谷村前町長の退任・藤井町長の就任

(2022年8月号)

2022年7月、谷村成基氏が3期12年間務めた神戸町長の職を退任し、新たに藤井弘之氏が就任しました。



より一層愛される広報紙を目指します。

